



鳥取県立皆生養護学校（高等部）



所在地：〒683-0004 米子市上福原7-13-4

TEL：0859-22-6571

FAX：0859-38-3485

E-mail：kaikeyo-s@mailk.torikyo.ed.jp

URL：https://www.torikyo.ed.jp/kaikeyo-s/

創設：昭和38年

学校案内図



生徒数

(令和4年5月1日現在)

区分	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
単一障がい学級	1	0	1	0	1	1
重複障がい学級	3	1	3	3	1	1
訪問学級	0	0	0	1	1	0

令和5年度 設置学科

○普通科

利用交通機関

- ・JR米子駅から新開行きのバスに乗車「総合療育センター前」で下車

**自己の生き方を探求していく人の育成
～未来を生き抜く力を育むことを通して～**

「自分の可能性をためしてみたい。」こんな皆さんを待っています！

本校は昭和38年4月1日に身体に障がいのある子どもたちが学ぶ、米子皆生学園として開校しました。

昭和50年4月1日に現在の鳥取県立皆生養護学校へ改名し、平成26年度から高等部に病弱教育が設置されました。今年で59年目を迎え、幼稚部、小学部、中学部、高等部の4学部を設置し一貫した教育に取り組んでいます。

「自己の生き方を探求していく人の育成～未来を生き抜く力を育むことを通して～」を教育目標に掲げ、一人一人が充実した学校生活を送り、個々の可能性を伸ばし、よりよく生きることができるよう支援をしています。自立をめざし、時代を生き抜く力を育成します。

在校生の声

☆個人に合った学習方法で学習することができて、分からないことがあると、分かるまで先生が繰り返し教えてくださいます。生徒同士で相談し合える環境や雰囲気があり、楽しく一体感を感じられる学校生活を送っています。
(在校生)

☆現場実習の機会があり、いろいろな企業でいろいろな仕事を試せるのがこの学校の強みだなと思います。実際に、多くの職場で仕事の経験ができ、大きく成長できたと思います。
(在校生)

高等部の教育

自分の未来を見つけ、チャレンジし続ける生徒を育てる学部 ～自立を支え、社会へつなぐことを通して～

- ▶ 病弱・肢体不自由の生徒が、障がいや支援の違いに関係なく同じ教室でともに学び、学校行事や校外学習をともに体験し、高めあいながら学習しています。
- ▶ 能力や可能性を最大限に伸ばし、自分たちを取り巻く社会に積極的に関わる力を育てます。
- ▶ 自分を生かし自分の役割を果たすことができるよう、自己実現・社会参加の方法を追求します。

障がいに応じた教育課程、将来の進路希望に合わせたコースを設けています。

- *単一A型：総合コース 単一B型：基礎コース
- *重複I型：ワークコース
- *重複II型：ふれあいコース 重複III型A・B：ふれあいコース 訪問：ふれあいコース

特色ある教育活動

進路の希望に合わせて、授業選択を行います。基礎コースでは、情報系、商業系の中から科目を選択し学習を深めます。総合コースでは、「深化・挑戦・探求」「Kスタディ」という皆生長護学校にしかない教科学習もあり、自分が学びたいことを決め、スキルや知識を深めていきます。個々のニーズに応じた学習を行っています。

また、たくさんの社会経験を積むために、職場見学や校外学習など、体験的な学習に取り組み、卒業後の進路に役立てています。



校外学習～美術館見学～

産業現場等における実習



現場実習

チューニング・ウィーク期間を設け、将来について考える学習をしています。その中に、事業所等での現場実習を年2回、前期（7月）・後期（11月）ともに10日間ずつ実施していきます。卒業後の進路を見据え、卒業後の「暮らし方」「働く」ことを意識した実習を行います。ねらいについては次のとおりです。

- 将来の進路について考え、自己の適性を知る。
- 社会性や職業意識を高め、勤労の意義を学ぶ。
- 社会の一員としての自覚を深め、自立に向けて必要な知識や技能を養う。

いろいろな行事

皆生スポレク祭、皆生・ブライト・フェスティバルなどの全校行事、他校の高校生との交流、新入生歓迎会、卒業生を送る会、修学旅行などさまざまな活動があります。

児童生徒会活動では、定期的に執行部会を行い、あいさつ運動、各行事の企画・運営、TEAS活動に取り組んでいます。



皆生・ブライト・フェスティバル

進路状況（過去3年間の卒業生）

進学	訓練校	就職	就労移行支援	就労継続支援	デイサービス	在宅	その他
1名	0名	2名	0名	5名	17名	2名	2名

体験入学・相談のご案内

学校説明・見学、教育相談、体験入学などを通して、学校の様子や教育内容等を知ってもらいます。いつでも相談・見学が可能ですので、電話などでお問い合わせください。